

『休み中に自分で英語を勉強する方法』

教科書とお助けプリントを使って



北海道壮瞥町立壮瞥中学校 教諭 大塚謙二

みなさん、こんにちは。Sunshine English Course 著者の大塚謙二です。私は北海道の壮瞥中学校で英語教師をしています。2年生の担任をしています。私のクラスの生徒達も、毎日、先の見えない中、自分たちに与えられた時間を色々なことに使っています。ゲームをし過ぎたり、生活リズムを崩さないように、工夫しているようです。

さて、英語の勉強で困ることは、発音がわからないことです。発音だけはプリントで正しく伝えられません。単語にフリガナをつけてもカタカナ発音にしかなりません。きっとみなさんも困っていると思います。そこで、開隆堂出版のホームページに特設の教科書音声を聞けるサイトができたので、それを使って勉強する方法を提案したいと思います。

私は、普段の授業で「お助けプリント」というA4判裏表のプリントを使って、色々な活動をしています。これは、英語が得意な人だけではなく、不得意な人もきちんと自分で勉強できて、英語を話せるための基礎をつくるという目標でつくっています。

私が授業で使うときは、読んだり、英語を話したり、問題を解いたり、宿題にする時は、単語練習をしたり、日本語に訳したり、日本語訳を見て英文を書くようにしています。

今日は、この大変な時期に2月下旬から勉強する予定だったページを自分で勉強を進めることができるように、みなさんにも使ってもらおうと思い、使い方を説明します。中学校の先生方もご自由にお使いください。休み明けに提出というような宿題にもできます。

●家庭での勉強方法 使う物:教科書, お助けプリント, 教科書音声

1. 本文の内容理解

- ① まず、教科書を開かないで、これから勉強するページの音声をホームページで、どんな内容か聞いてみましょう。満足するまで何回も聞いてみましょう。
- ② 教科書を開いて、英文を読んで内容を正確につかみましょう。でも、習っていない単語で読み進められないですね。そんなときは、文の前後関係から単語の意味を予想してから辞書で調べて読みましょう。Readingの課では教科書下に意味が出ています。ここで、細かく正確に最後まで読んでもいいですが、おすすめは、先に③の活動へ進みましょう。
- ③ お助けプリントの問題に関係する文を短時間で見つけ、そこをざっくりと辞書や教科書下の単語を使い読み取り、答えを記入しましょう。どこを読めば良いのかに気がつく力を高めます。それから、細かく正確に読んでもOKです。
- ④ 読んで理解したことが正しかったのか、日本語の問題の答えはどうだったのかについては、お助けプリントの日本語訳で確認しましょう。

2. 単語練習（読めるように、意味が言えるように、正しく発音できるように、書けるように）

① お助けプリントの単語の練習をします。まず、何回も発音と意味を読んで覚えましょう。その時に、音声を聞いて、正しい発音もリピートして練習します。そして、プリントの英単語を指でかくし、英単語を書いてみる。そして、正しく書けたのかを確認し、また、同じように、指でかくして、見ないで書いてみる。大切なのは毎回毎回、見ないで書いてみることです。発音しながら書いて覚えましょう。

発音は、ホームページのリンクをクリックしてリピートしましょう。本場の発音が良いと聞き取れない時は発音できないので、お助けプリントのフリガナを確認し、そのカタカナ英語から本場の発音に近づけていくと上手に発音できます。

② 何度も繰り返すと、日本語の意味を見た瞬間に英語を言える状態（または、英→日）になるので、その段階まで練習します。すると、長文をいちいち日本語に訳さないで、英語を英語のまま理解できる状態に近づきます。そこを目指しましょう。

3. 音読しながら、日本語訳を見て英語に変換する

① 次は、日本語を見て、英語を言えるようにする練習をします。1度、自分の力で本文を全部読んでみましょう。新出単語を練習したので読めない単語はありません。でも、忘れていた単語もあるかもしれないので、その時は音声を聞いて確認します。

② お助けプリントは表と裏の上下を逆さまにすると、裏の日本語訳を表側に持っていくと、表の英文の下に日本語訳が行き、重ね合わせながら同時に見ることができ、覚えるのに便利で、覚えやすくなります。

★ コツは、この活動をする時、英語が苦手な人は、一気に文全体を音で覚えようとしてしまいがちですが、それはダメダメ！ ひとつひとつの単語をきちんと覚えて、文をつくると、正確な文を言える基礎ができます。本文中の以前勉強したけど忘れてしまった単語を覚えて言えるようにすると、1年生からの復習をすることができます。is am are のような、中1の4月に勉強した大切な単語は何度も出てくるでしょう！

4. 英語を日本語に訳し、音読練習、英語を読んで和訳せずに英語を英語で理解する練習

① 英文を読んで日本語訳を書きます。この流れでここまでくると、日本語に訳するのはとても簡単です。ここの目標は、せっかく時間があるのでひとつ上の目標にいけます。

② それは、英語を読んで、日本語に訳さず、英語のまま理解できるようにします。例えば、Let's study English.は、とても慣れ親しんだ単語ばかりなので、いちいち「英語を勉強しよう！」と日本語に置き換えなくても、Let's study English.って理解できますよね。これです。教科書本文を訳したら、英語を英語で理解できるまで何度もその英文の内容をイメージしながら読みます。

★ コツは、意味を理解できる英文を何度も何度も読みながら徐々に日本語を取り去っていきます。さあ、チャレンジ！ でも、最初から全部はできなくていいです。少しずつ自分の英語力を高めていくと、できる英文も増えてきます。最初は簡単な短い文からチャレンジしましょう。これができるようになると、英語を読むとき、聞くときに英語を英語で理解できるので速く読んだり、聞くのが楽になります。

5. 日本語訳を見て英文を書く

- ① さあ、やっとここまでできました。最後の仕上げです。それは、日本語訳を見ながら英語を言えるようにした英文を書いてみるのです。簡単ではありませんが、チャレンジしましょう。書いてすぐに、正解を確認しましょう。
- ★ コツは、最初から全部書けなくていいので、自分の書ける文章から、そして、最初は簡単で短い1文を選んでみましょう。少しずつ自分の限界を広げていきましょう。